



千葉敬愛学園100周年記念事業へ寄付

2026年に千葉敬愛学園は、創立100周年を迎えます。校友会では、記念事業への寄付として700万円を贈りました。寄付には、敬愛短期大学の発展と在学生の学習環境の向上に願いを込めました。多様化する社会の進展で、柔軟に対応できる人材の育成が求められています。今回の寄付がこの課題の対応に役立てばと考えています。

敬愛フェスティバル

10月18日(土)19日(日)に敬愛フェスティバルが行われます。敬愛短期大学では今年も日頃の学習の成果を生かしたクラス毎の企画を中心に行われます。稲毛キャンパスでのフェスティバルが2回目になりました。昨年より、多くの卒業生・地域の皆様にご来場いただけるよう、学生の皆さんは夏休みも猛暑に負けず準備をしてきました。

校友会も実行委員会の企画「けいたん♪をさがせ」と連携してストラックアウトと輪投げを行い、学生の皆さんを後援します。お菓子をたくさん用意してお待ちしています。



Home Coming Day

—卒業生の学びのお手伝い—

校友会では、卒業生のための学びの場作りを短大と共にを行っています。絵本専門士を目指すみなさんのための絵本専門士認定試験対策講座運営のお手伝いや合格した方には、費用の一部助成を行います。また、総合子ども学研究所が行う卒業生との共同研究会や公開講演会運営のお手伝いを行っております。

卒業生の学びの場に関する情報は、校友会ホームページや校友会LINEでお知らせしております。校友会LINEは下記のQRコードを読み取ってご覧になってください。

稲毛キャンパスに移転しても、実践的な学びの場は「あの頃」と変わりません。自分磨きのために敬愛短期大学に足を運んでみてください。

詳しくは校友会ホームページをご確認ください。

<https://www.chibakeiai.ac.jp/kouyukai/>

お問い合わせ先

yoshihisaotsuka@outlook.jp(事務局長 大塚)

編集後記

稲毛キャンパスに移転して1年と半年が過ぎました。会員の皆様のご協力とご理解により稲毛キャンパスでの校友会活動を軌道に乗せることができました。敬愛短期大学の先生や事務局職員の皆さんと連携し、在学生にも卒業生にも役に立つ事業を立ち上げることもできました。Home Coming Day事業のプログラムの中には在学生と卒業生が共に

学ぶ場づくりもできました。

よりよき保育者・社会人育成の環境作りにこれからも校友会は全力で後援を行って参ります。また、会員の皆様の声をいかした運営を行って参りますのでよろしくお願いします。

(敬愛短期大学校友会事務局長 大塚孔久)

校友会LINE登録のお願い

校友会では、郵送ではお送りしきれない情報をホームページで発信しています。情報を更新する度にLINEでお知らせしています。まだ、登録されていない方はこのQRコードにてご登録ください。



お便りお待ちしております!!

事務局では会員の皆様のご感想・お便りをお待ちしています。

◎郵送先

263-8558 千葉市稲毛区穴川1-5-21

敬愛サービス内 敬愛短期大学校友会事務局

Mail yoshihisaotsuka@outlook.jp(事務局長 大塚孔久)

敬愛短期大学
校友会報

Vol.33

発行日/令和7年10月1日
編集・発行/敬愛短期大学校友会
発行責任者/片山喜久子
〒263-8588 千葉市稲毛区穴川1-5-21 敬愛サービス内
TEL.043-306-8964



contents

ご挨拶.....②

敬愛短期大学校友会会長 片山喜久子

敬愛短期大学学長 中山幸夫

敬短の輪.....③

御須龍一

森田優里

HomeComingDay.....④-⑤

祝 絵本専門士合格 絵本専門士合格者の声

安生萌花

稲葉彩希

中村綾香

卒業後の学びに生かそう.....⑥

稲毛キャンパス利用可の施設

稲毛キャンパスで同窓会をしませんか...⑦

短大から.....⑧-⑨

学生部長 教授 大野雄子

学生会長 田野倉彩也菜

敬愛フェスティバル実行委員長 石井愛深

敬愛フェスティバル2025「^{とっば}翔晴」のお知らせ

校友会事務局から.....⑩

事務局長 大塚孔久

ご挨拶



実りある校友会活動を目指して

敬愛短期大学校友会 会長 片山 喜久子

令和7年4月、敬愛大学と敬愛短期大学の合同入学式に出席させて頂き、千葉敬愛学園が目指す教育のパワーを感じました。さらに、2026年には千葉敬愛学園が創立100周年を迎えることへの感動も湧きました。



地に足着けて学び、社会に貢献できる人材を育ててきた本学の歩みの偉大さを改めて実感しました。

敬愛短期大学が稲毛キャンパスに移転した昨年一年間の活動を振り返ると、敬愛フェスティバルで敬愛大学と共に活動する機会を得られたことは、短大生の学びの幅も広がり、校友会としても新たな支援活動を広げる手応えを実感したところです。学生さんへの支援に加え、校友会の皆様への支援も実り多いものを目指したいと思います。いっそう充実したえほんのもりや広い学生食堂で、会員の皆様にお会い出来たらうれしいです。校友会の皆様、是非今後の校友会活動にご期待ください。そしてご希望やご意見等をお聞かせいただければ有難く思います。



稲毛キャンパス移転後の近況

敬愛短期大学 学長 中山 幸夫

校友会の皆様には、日頃より母校の教育活動に多大なるご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

稲毛キャンパスの新教育棟(2024年2月竣工)に敬愛短大が移転してから早や1年半が経過しました。この間、新たな教育環境の中で正課の授業が運営され、また短大生と大学生の共同企画による敬愛フェスティバルや大学・短大同時開催のオープンキャンパスなども行われ、稲毛キャンパスは若さと活気に溢れた学び舎となっています。

近年、短期大学における学生募集のマーケットは全国的に縮小の傾向にありますが、そうした中で

も敬愛短大については収容定員充足率が100%を超えており(本年5月1日現在)、これも卒業生の方々の社会での活躍によるところが大きいと感謝しております。来年はいよいよ学園創立100周年の大きな節目を迎えることになります。校友会の皆様には、引き続き母校へのご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



『敬短の輪』

敬愛短期大学で学ばれた卒業生は、教育・保育の現場で活躍されています。これから卒業生の声を紡ぎ「敬短の輪」を作っていきたいと思います。今回は、小学校・保育園で活躍されているお2人が声を届けてくださいました。

現場には多くの仲間がいる



御須 龍一

学生の皆さんの中には、短期大学を卒業した後、今まで共に学んだ仲間と離れ離れになることに不安を感じている人もいないのでしょうか。私自身も、卒業を前に同じような不安を抱えていた一人です。

しかし、実際に学校現場で働き始めると、先輩や後輩の中に、千葉敬愛短期大学を卒業した同窓生が多くいることに気づきました。同じ学び舎で学

んだ者同士、これまでの短大生活の思い出や、今の仕事の事など、さまざまなことを語り合うことができました。また、そうしたつながりの中で、人脈もさらに広がっていきました。今では、とても楽しく、のびのびと仕事に取り組むことができます。

現場でご活躍の同窓生のみなさん、そしてこれから現場へと羽ばたいていく在学生のみなさん。仲間とともに、これからも一緒に頑張っていきましょう。



敬愛短大で結ばれた人とのつながり



森田 優里

私が入学した時期は、新型コロナウイルスによる自粛期間の真っ只中でした。

授業はほぼすべてオンデマンドになり、正直この場で友達を作ることには諦めていました。

授業が後期に入り少しずつ登校しての授業も増えていく中で、先生方だけでなく友だちと喋る機会ややり取りも増え、卒業した今でも連絡をとる友人もいます。その友人と

は、遊びに行ったりもしますが「今年から〇歳の担当になったけどそっちはどんなことをしているか」と情報交換をしたり、励ましあったりしています。

職場の人間関係以外にも、保育士としての繋がりがあことは、私の中で大きな支えになっています。



Home Coming Day

校友会では、会員みなさんのキャリアアップ支援を「HomeComingDay事業」として行っています。絵本専門士の養成もその一つです。昨年度から絵本専門士受験対策講座への後援や合格者への費用一部助成を行っております。令和6年度は3人の方が難関を突破して合格されました。合格者の方の声をご紹介します。



合格された 安生萌花さん 稲葉彩希さん 中村綾香さん

祝

令和6年度絵本専門士合格

7月26日(土)に絵本専門士合格者の方に助成金を贈呈しました。当日は午前中に在学生と卒業生が絵本の学習会を行い、午後に令和7年度の絵本専門士受験対策講座を行いました。校友会では、敬愛短期大学と連携し、卒業生の学びの場作りを進めています。卒業生向け講座等のご案内は、校友会ホームページや校友会LINEでお知らせしています。ご自身のスキルアップの為に是非ご活用ください。

絵本専門士に合格して

安生萌花さん

幼稚園教諭としての実務経験を3年以上積み、絵本専門士へのステップアップを考えていた際に受講した対策講座が受験のきっかけになりました。日々の保育の中で絵本は子どもたちとの信頼関係を築くツールの一つであると感じており、読書の入り口として絵本に親しんで欲しいという思いをもっています。私自身も絵本

専門士としての知識、技能、感性を高められるよう、学び続ける姿勢を忘れずに絵本に親しみ続けたいと思います。



大好きな絵本と一緒に。

稲葉彩希さん



私自身、絵本への興味や好きという気持ちが強まったのが学生時代の、認定絵本土の授業を受けたのがきっかけでした。卒業後、保育や絵本

についての研修等を通して絵本の素敵なおとこにたくさん触れたことで、絵本がさらに大好きになりました。こうして絵本専門士へのステップアップができて大変嬉しく思います。大好きな絵本とともに、私自身もより成長していきたいです。

絵本専門士に合格して

中村綾香さん

昔から絵本が好きで、学生時代に実際に絵本専門士として活躍している方の話を聞いてからいつか絵本専門士の資格を取りたいと思っていたので、今回試験に合格できとても嬉しく思います。短大の先生方にご助言をいただいたおかげで合格できたため、先生方には感謝しかありません。

まだどのような活動しようか手探りの状態ではありますが、これから絵本専門士を目指す後輩のためにも、良い手本になれるよう、精一杯頑張りたいと思います。



あの頃に タイムスリップしませんか。

卒業生も利用できるキャンパスの施設を紹介します。

えほんのもり

えほんのもりは、1号館の玄関を入ると正面に見えます。1万冊を超える蔵書を持つ県内大学でトップレベルの絵本専門の図書室です。絵本の紹介方法や書架の構成や本の整理の仕方などただで勉強になる施設です。校友会では、毎年100冊を超える絵本を寄贈しています。絵本は、子どもだけのものではありません。大人も癒やされます。開放的な玄関エントランスで絵本に親しんでみてはいかがでしょうか。



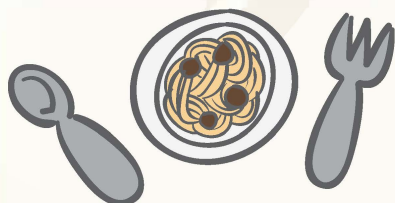
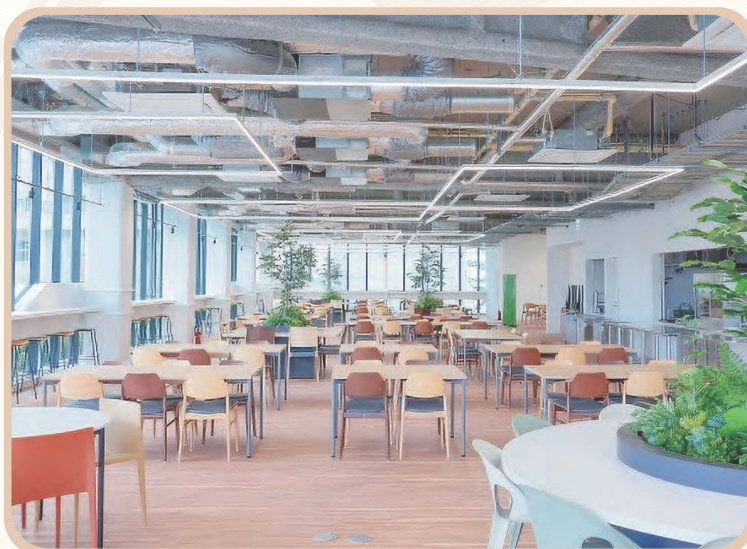
図書館

図書館は1号館2階にあります。えほんのもりとは異なり、重厚な木製の書架が曲線を描く通路に沿って並んでいます。数多くの専門書があり、資格習得に必要な図書も多くあります。自習スペースも併設されており、静かな環境で学習ができます。利用可能日は、月曜日から金曜日 9:00から17:00です。



学食

明るいカフェレストラン風の学食です。1号館3階にあります。入口の券売所には、月ごとのフェアのお知らせや献立表が張られ、おすすめグルメがすぐわかるようになっています。お値段もリーズナブルです。お近くお寄りの際は利用してみてはいかがでしょうか。

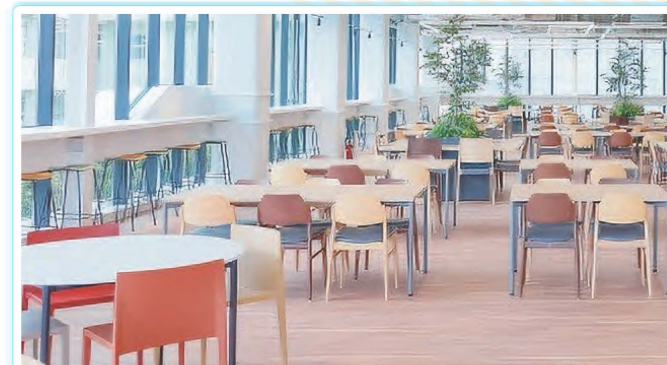


稲毛キャンパスを利用して 同窓会ができます。

敬愛短期大学校友会会員の特典として、稲毛キャンパスで同窓会をすることができるようになりました。利用できる施設は以下の通りです。

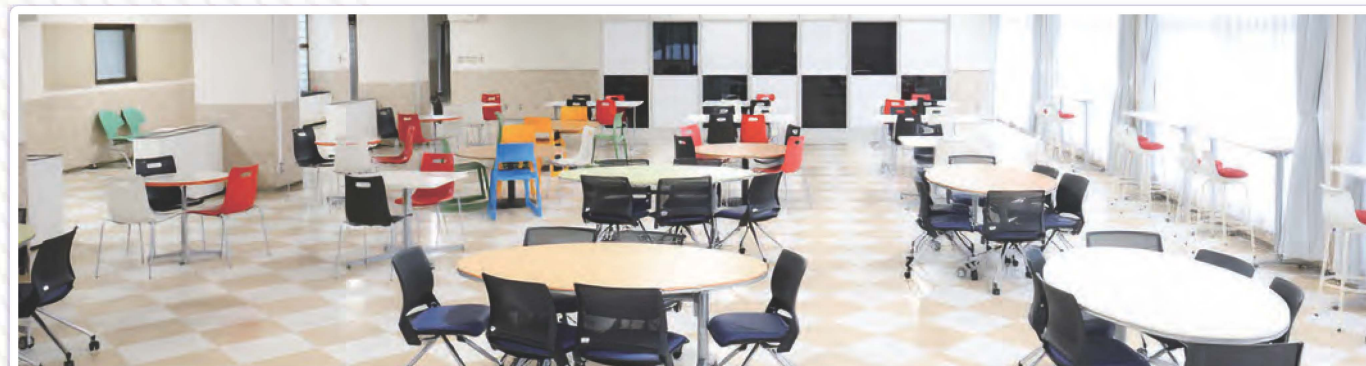
「学食」1号館3階

学生食堂は同じフロアに2タイプの部屋があります。会食をするのに明るく、清潔感がありピットリです。人数に合わせて机を移動させてパーティールームを作れます。



「学生ラウンジ」2号館1階

椅子やテーブルを動かすことが容易で、お子さんの遊び場を確保しながらの同窓会に向いています。壁面には飲料の自販機がついています。



「学生ラウンジ」3号館1階

グラウンドを窓越しにみられるオープンエアのようなラウンジです。広い廊下に椅子・机を置いたラウンジになっています。※「学生ラウンジ」は通路にもなっています。同窓会に関係の無い方が通ることもあります。



利用は原則土曜・日曜・祝日の9:00～17:00です。利用に当たっては、施設利用の予約が必要です。予約及び利用に関する詳細は、右記アドレスからアクセスしてご確認ください。
学生食堂での飲食提供はありません。飲食の持ち込みは可ですが、飲酒はできません。ゴミはすべて持ち帰りとなります。
短期大学・大学の都合でお望みの日の予約を取ることができない場合があります。
なお、同窓会実施にあたって校友会から同窓会助成金としてお一人1000円を助成いたします。

申し込みはこちら

<https://x.gd/VRSVh>



敬愛短期大学からのお知らせ

受け継がれる敬愛短期大学の伝統



学生部長・教授
大野 雄子

稲毛に移転して2年目を迎え、ようやく生活や行事、学生自治活動、地域との連携の在り方に順応してきました。そこで私の知る敬短の歴史を辿り、新キャンパスでも受け継がれている活動をご紹介します。まず入学式です。今年度は、大学・短大が合同で行われました。新入生オリエンテーションは、宿泊こそなくなりましたが、現在も千葉動物公園を開催場所としてチューターが中心となり実施しています。形は変われどオリエンテーションもチューターも切れ目なく受け継がれる伝統です。従来の体育祭は、6月にレクリエーション大会として実施。ダンス発表会も同日午後に行われました。コロナ禍から活性化が難し

かったダンス発表会ですが、ほぼ欠席者もなく、笑顔と歓声に包まれ、伝統を実感しました。現在は10月18日・19日の敬愛フェスティバルの準備が進められています。大学・短大の学びの特徴が出せるよう実行委員が努力しています。卒業生ならばなじみ深い合唱祭も実施しますので是非見に来てください。



「充実した学生生活を送るために」

学生会は、主に学校行事の企画・運営や予算の管理運営を担っております。

昨年度は初めての試みとなるクリスマスパーティーを先輩方が企画してくださり、当日は学生の沢山の笑顔、楽しむ姿が見られました。今年は昨年よりも学生の皆さんが楽しむことができるよう企画を進めております。今後も皆さんの声に耳を傾け、学生生活を充実したものにできるよう努めて参ります。



学生会会長
田野倉 彩也菜(2年)

「素晴らしい敬愛フェスティバルに」

本年度も大学との合同での開催となり、今年度は新しい企画の挑戦など様々な取り組みを行います。今年のテーマは『翔晴』です。翔晴には「様々な困難を突き破っていく。敬愛フェスティバルに関わる全ての人が、素晴らしいフェスティバルの旅ができるように」という意味が込められています。このテーマを掲げ、実行委員一丸となり、頑張っていきます。



敬愛フェスティバル実行委員長
石井 愛深(2年)

敬愛 フェスティバル 2025



参加
無料

今年のテーマは「翔晴（とっば）」

10月18日(土)・19日(日)

1日目 18日(土) 10:00~16:30 予定

- ・短大クラス出店(16:00 終了予定)
- ・各種ステージ企画
- ・キッチンカー等飲食出店
- ・敬愛大学教育後援会「特別講演会」有森 裕子氏
- ・ライブ
- ・敬愛大学・短大軽音楽学部ライブ

2日目 19日(日) 10:00~19:30 予定

- ・短大合唱祭
- ・短大クラス出店(14:00 終了予定)
- ・校友会ストラックアウト・輪投げ・アトラクション企画(両日)(14:30 終了予定)
- ・キッチンカー等飲食出店
- ・ビンゴ企画
- ・アトラクション企画(両日)

※本イベントの詳細は、ホームページやSNSにて随時更新いたします

実行委員長メッセージ

「翔晴（とっば）」には、大学と短大一緒に自由に進み続け、様々な困難を突き破っていく、そしてフェスティバルに関わる全ての人が素晴らしいフェスティバルの旅（体験）ができるようにという意味をこめました。卒業生のみなさんもぜひ遊びにいらしてください！



19日 同日開催 コラボ企画もあるよ！
稲毛区民まつり

時間：10:00 ~ 15:00
メイン会場：穴川中央公園

楽しい企画が盛りだくさん！

★短大クラス出店★
短大の各クラス、それぞれ工夫を凝らして準備中！
小さいお子さまも楽しめる企画がたくさん！
ぜひ親子・友達みんなで遊びに来てください！



★ゼミや先生方による出店・企画★
授業で学んだことを生かした企画や飲食出店など様々！



★ステージ企画★
参加型のステージも多数！
ぜひご参加ください！



★合唱祭★
短大の伝統行事
前期から練習を重ねた各クラスの合唱をお楽しみに♪

～開催会場～

敬愛大学・敬愛短期大学
〒263-8588 千葉市稲毛区穴川 1-5-21
JR 稲毛駅 東口徒歩約 13 分
※駐車スペースはございませんので、公共交通機関をご利用のうえご来場ください。



～お問い合わせ～

敬愛フェスティバル実行委員会
Eメール keiaifes2025@gmail.com

学生支援室 電話番号：043-284-2381（平日 8:45 ~ 17:00）

詳細は
こちらから

敬愛フェスティバル
Instagram



@KEIAIFES.2025

敬愛短期大学
ホームページ

